



第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 花田 勝彦（五所川原 RC）

「花田さん、ロータリーの件なんだけどさ、来年、何か役割決まってる？」

田中久夫 RMC から ARMC の打診のご連絡をいただいたのは、ガバナー年度が年度半分終わる 2024 年の大晦日のことでした。我が 2830 地区は、その年の 1 月の RI 理事会で、2026 年 7 月 1 日に会員数が 1,100 名に達しなかった場合は、隣接地区と合併することに同意するという決議がなされ、まさに緊急事態でした。地区として会員増強の崖っぷちに立たされていたガバナーですから、そのような経験が、良い意味で他の地区にも還元できるのであればと考え、ARMC の就任を承った次第です。

会員増強にとって大切なことは、クラブが魅力的であり、クラブの会員が地域で一目置かれる存在であること、そのような人が多く集まるクラブには、入会を希望する会員候補者が自然と多く現れるはずであると考えています。ロータリーを自分磨きのための適切な場所とするためにも、自分自身の一挙手一投足が見られているという意識をもち、立ち振る舞いや話し方にも気をつける。また、楽しくなければロータリーは続きませんから、仲間を増やし、大いに親睦を深めることも大切です。本来は、このようにして自然に会員が増えていくことが望ましいと思っているのですが、それも今のままの地区があってこそ、という面もあります。2013 年の規定審議会で、地区の最低会員数を 1,200 名から 1,100 名に修正してもらうことに成功したのは、ほかならぬ 2540 地区と 2830 地区です（決議 13-109）。その 2 つの地区が、今 1,100 名を下回ることで地区合併の危機に立たされています。ここは何としても乗り越えていきたいところです。

会員を増やすための具体的な方策としてまず考えられるのは、衛星クラブの設立でしょう。8 名の会員候補者を集めて、従来型のクラブではできない特徴あるクラブを設立することができることから、多くの地区で取り組んでいることと思います。既存のクラブ内で会費を抑え、会員数を増やす方法として、2830 地区で昨年以來取り組んできたことは、クラブ独自の正会員の種別を多様化することです。ファミリー会員、後継者会員、シニア会員、特別会員など、これまでは会費負担が大きく、正会員へのハードルが高かった方を会員としてお迎えできる方策の 1 つです。導入に当たっては、クラブ細則を改正する必要があるため、クラブ細則の改正案を作成しました。

My ROTARY のラーニングセンターの左上「ユーザーメニュー」に「学習トピック」という項目があります。下の方にスクロールして、「もっと読み込む」をクリックして進んで行くと「柔軟性を取り入れたクラブ細則の実例」というタイトルで、細則案を掲載しています。RI 日本事務局の尾畑さんにアップしていただきましたので、導入を検討しているクラブは是非ご参照下さい。



<https://learn.rotary.org/members/share/asset/view/137278>

アクセスには My ROTARY へのログインが必要です。